

マゴソ通信



サポーターの皆様、さまざまな形でマゴソスクールを支援して下さる皆様、関心を持って下さる皆様、はじめまして！！私は、支える会で会報を作ったり、会報やお礼状を発送したりする仕事を担当しています。

この仕事をしていて思うことは、本当に多くの皆様にマゴソスクールは支えられているということです。発送する会報は、第1号は200部程度でしたが、今は1000部を超えています。ネットの時代ですが、紙媒体ならではの「ポストに定期的に届く」ということで、皆様とつながっていくということが大切だと考え、会報を作っています。

さて、次のような文を目にしました。

「欠食児童がいる。生理用品が買えないからその間は登校しない子がいる。演劇や音楽が大事にされる。自己表現のスキルは生きてゆく力の一つだから。」

まるでマゴソスクールのように。この文は、毎日新聞の書評（「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」(ブレイディ・みかこ著) 池澤夏樹評)の一部で、イングランド南部の地方都市の底辺校の状況です。

書評にはさらに次のように書かれています。「廊下で、2、3人の生徒と教師が机を囲んでいる。取り残されている子供たちを作らないことが、目下、わが校の最大のテーマなんです。」「社会科の試験で『エンパシーとは何か』という問題が出る。シンパシーは同情、まだ相手との間に距離がある。エンパシーはもっと暖かく、積極的・能動的な『共感』。」「この本に出てくる教師はきちんと生徒の方を見ている。人種差別も多角的という複雑な社会で、問題は多々あるがそれに立ち向かおうとしている。」

ますます、マゴソスクールと似ています。私がマゴソスクールと関わり始めて、15年以上になりますが、マゴソスクールはどんどん成長していています。それは、皆様のシンパシーではなくエンパシーの賜物。サポーターになって継続的に支援をして下さる、必要な時に必要な支援をして下さる（音楽大会募金、給食募金、強制撤去募金などなど）、皆様がマゴソスクールを「私の学校」と思ってください。これからも、そのことに感謝しながら、会報を作り、御礼状を送らせていただきます。

マゴソスクールを支える会 会報等担当者

支える会からのお知らせとお願い

- ✂ 2019年8月現在のサポーター数は376名です。
- ✂ ご友人等にご紹介のためパンフレット・会報等をご入用の場合は事務局までご連絡ください。
- ✂ 会報は、会員の方、アンケートに答えてくださった方、名刺を頂戴した方、寄付を頂いた方、様々な形でご支援して下さる方、皆様に送らせていただいております。もし、重複して届いていたり、不要な場合は、事務局までお知らせいただければありがたいと思います。
- ✂ 振込用紙は発送作業の都合上、全員に入れさせていただいております。ご了承ください。
- ✂ 会費の領収書は発行していませんが、必要な場合は事務局までお知らせください。専従スタッフがおりませんため、ご寄付のお礼(領収書)の発送が遅れますことお詫び申し上げます。
- ✂ 皆様からの会費やご寄付はすべてマゴソスクールに送り、会報の印刷・郵送には使っておりません。会報の郵送のために、未使用切手やはがきを会の事務局に送って頂くなど、ご協力いただければありがたいと思います。また、お送りくださった皆様、ありがとうございました。
- ✂ 「マゴソスクールに支援物資を」と考えられる場合は、必ず早川千晶さんにご相談ください。

マゴソスクールは、設立から20年！！21年目！！に入りました

マゴソスクールを支える会

事務局 〒511-0044 三重県桑名市大字萱町54-1

Mail: info@magoso.jp HP: http://magoso.jp/

Facebook: https://www.facebook.com/magososupportersclub/



マゴソスクールの子供たち 100人 (-3人) にききました その2

今回は、参加しているクラブ、将来の夢、子供たちにとってマゴソはどんなところなのか、皆様へのメッセージを紹介します。

1. 参加しているクラブとその理由

参加しているクラブ						
学年	音楽	アート	ガールズ	フットボール	ヘルス	無所属
4	9	6	6	4	1	3
5	4	5	1	1	0	0
6	6	6	1	0	1	2
7	6	7	3	0	0	(科学1)
8	15	2	3	1	1	0
不明	0	1	0	0	0	1
合計	40	27	14	6	3	6

註：7年生は無所属0で、科学クラブと回答した生徒1名

回答者数	
学年	人数
4	29
5	11
6	16
7	17
8	22
不明	2

音楽クラブ

歌ったり踊ったりが好き。いろいろな音楽とダンスができる。伝統的な音楽を勉強できる。外国からのゲストも楽しんでくれる。楽器を演奏したり、練習したりするのが楽しい。幸せな気持ちになる。好きだし、才能がある。才能を伸ばせる。ストレス解消になる。私の自由な時間である。ダンスを完ぺきにするために練習するのも楽しい。行ったことのない場所にも行けるし、友達と歌ったり踊ったりできて、暇になることがない。歌詞から学ぶことも多い。音楽大会で、いつも1位、2位などの好成績を収めている。音楽は美しいし、心がリラックスする幸せな気持ちになる。練習を重ねることで強くなれると先生たちは言っている。

アートクラブ

良いスタッフがいて、たのしい。色鉛筆などを使って作品を作るのは素晴らしいことだ。いつもやっていて幸せになる。描くだけでなく、いろいろなことを学べ、助けにもなる。面白い絵を描いて他の人を楽しませる。美しいものを書くのが好き。絵をかく才能がある。絵を描くのは楽しいし、それを売ることでもできる。将来の私の生活を豊かにしてくれる。絵を描いてそれを売って利益を得られる。私の絵でみんなを楽しませることができる。絵を描くことで救われる。まるでプロのアーティストになった気にさせてくれる。

ガールズクラブ

室内でいろいろ遊べる。料理などいろいろなことを学べる。女の子として自分の身を守るすべを学べる。リーダーがいてくれて、困ったことなどを一緒に話し合ったりできる。少女たちが快適に過ごすのを助けてくれる(例えば、生理のとき、恥ずかしくて、人と関われない時に助かる)。将来に必要なことを学べる。

フットボールクラブ

スーパースターになるのを助けてくれる。サッカーの才能を伸ばしてくれるし、体も鍛えられる

ヘルスクラブ

体について学んで自分を守れる。病気について学べる。学校をきれいにしたり、低学年の体をケアしたりする。みんなが清潔に暮らすにはどうしたらいいか教えたり、手助けしたりする。

科学クラブ

飛行機がなぜ飛ぶとか、興味深い成果や仕事を学べる。

2階がスタッフルーム
先生方のボックスも完備



給食は、トウモロコシが高いので、トウモロコシと金時豆の煮物(ギゼリ)から、ご飯と金時豆の煮物に変更中

マゴソファミリーのジュンバ(モンバサ近郊ミリティーニ村にある子供の家)の子供たちです。



2. 将来の夢とその理由

将来の夢															
学年	医者	パイロット	サッカー選手	先生	看護師	技術者	法律家	警察官	アーティスト	ダンサー	ドライバー	科学者	ジャーナリスト	回答なし	回答一人
4	9	3	4	3	4	0	2	0	1	1	0	0	0	2	
5	1	4	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	大統領 テイラー
6	7	0	0	2	0	1	1	2	0	0	0	1	1	0	配管工
7	5	2	1	1	2	1	0	1	0	1	2	0	0	0	
8	4	2	4	1	1	3	2	0	1	1	0	0	1	0	シェフ カウンセラー
不明	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	26	13	9	8	7	6	5	3	3	3	2	2	2	2	6
医者：医 を 先生： 先生、大学の先生を 警察：軍隊を アーティスト：ミュージシ ンを															

医者：病気の人を助けたい。人を助けられお金も稼げる。そのお金で、孤児を助けたい。人をいやせる。誰かをケアすることで私ももっと幸せになれる。

技術者：国を助け、発展させたい。もちろんお金も稼ぎたい。看護師：ケニアの人を助けたい。

警察か軍隊：泥棒を捕まえる。平和を守る。

サッカー選手：メッシ、クリスチャンロナウドのような世界的に有名なサッカー選手に。

シェフ：ホテルなどで、有名な観光客に料理を提供。大統領：国を守り、ケニアを平和な国にしたい。

ドライバー：行きたいところに連れていける。配管工：パイプをつないで、あちこちに水を供給したい。

法律家：虐待されている子供たちを救いたい。何の理由もなく牢獄に入れられたりする人々を助けたり、汚職を摘発する

3. マゴソスクールとは

*学ぶ機会を与えてもらえる。 *ゴールや目標を持たせてくれる。 *才能や学力を伸ばしてくれる。
 *家族のようなもの *目上の人を敬い、従うことなどたくさんを教えてくれる。 *マゴソは、遊べて、勉強できて、食べ物がもらえるところ。 *先生たちは、テストでよい成績をとれるよう助けてくれる。
 *友達と励まし合える。 *知識を豊かにできる。 *勉強して夢をかなえる場。 *友達と才能を分かち合う場。 *将来設計ができる。 *先生たちは、教えること、歌やダンスなどの指導が完璧だ。 *どの科目も教え方がうまい。マゴソに入る前は標準以下の成績だったけれど、良くなった。 *助けを必要とする人々を支える。 *家族みたいなもの。 *たくさんをしてくれている。私たちの両親は食べ物を買うお金もないので、給食ありがたい。 *居心地がよい。 *褒めてもらえる。 *たくさん食べることができる。 *卒業後も、面倒を見てくれる。 *学べ、食事もでき、遊ぶこともでき、マゴソは最高の学校だ。ホントにマゴソが好き。 *食べ物だけではなく、服、靴、その他いろいろなものを無料でもらえる。 *マゴソはケニア一素晴らしい学校だ。 *孤児を助けてくれる素晴らしいところ。 *マゴソで今や、将来に必要なことを得ている。 *マゴソは私を助け、私もマゴソを助けている。 *リリアンに感謝。 *遊びと学びのけじめがついている。 *お互いが切磋琢磨して自分の才能を高めていく場。

4. 支援者の皆様へのメッセージ

✿マゴソスクールやマゴソファミリーを支えてくださってありがとうございます。 ✿学ぶ機会を与えてくれてありがとうございます。 ✿日本に行きたいです。 ✿マゴソはとってもとっても良い学校です。 ✿支援してくれてありがとうございます。 みなさんのためにおいのりします。 ✿してくださっていることを尊敬します。 ✿私たちに学ぶ機会と夢に向かう機会を与えてくださりありがとうございます。 これからも物心両面で支えてください。 ✿これからも支援をお願いします。 マゴソの生徒の多くは食べ物もないし親もいません。 ✿子ども支援、特別学級の生徒などたくさんの支援に感謝します。 ✿私の二人の兄弟も卒業後支援を受けています。 素晴らしい活動で、感謝しています。 ✿海外から学校に関心を寄せてくださり、愛してくださり、感謝しています。 ✿学校のことを知って、みなさんが喜んでくださるなら、とてもありがたいです。 ✿食べ物、校舎いろいろなサポートをありがとうございます。 ✿お会いしたいです。 いつの日か、サポーターの皆さんにマゴソに来てもらいたいです。 ✿皆さんの支援で、なりたい将来を得られる。 教育は将来への鍵です。 ✿想像以上に助けていただいています。 ✿高校に行くのを助けてください。

支援に感謝その1 給食募金

前号でもお知らせしたように、WFPの食糧配給がキベラスラム全体で終了し、今まで1食10円で提供できていたのが、50円かかるようになりました。そこで、早川さんが8月10日にフェイスブックで募金箱の設置を呼び掛けたところ、設置数が50以上増え、現在180個が設置されています。また、ケニアシリングの旧紙幣のご寄附をお願いしましたところ、46,358ケニアシリングのご寄附を頂きました。皆様、本当にありがとうございました

早川さんは、「キベラスラムの貧困児童は、学校給食だけが唯一の食事という子どもも少なくありません。家族のために家に給食を持ち帰る子もいます。空腹に耐えかねた子どもたちが犯罪組織に使われるようになったり、テロリストに連れ去られたりします。極限のひもじさから来るたくさんの悲劇があります。だから20年以上続けてきたこのスラムの毎朝昼の炊き出しは、どんな困難があっても最優先して続けたいと思っています。」と語っています。

ある中学校では、お昼のパン・お弁当などの販売時に、生徒会の生徒さんが募金箱を置いてくれています。自分がお昼を食べるとき、マゴソの子どもたちも一緒にお昼を食べようよという『共感』で、お釣りの5円、10円を募金する。すてきなりをありがとうございます。

支援に感謝その2 ケニア音楽フェスティバルの全国大会

出発前日、必要金額の40万円に達して、合計405,565円のご支援が集まりました。本当にありがとうございました。

全国大会でマゴソスクールが上位入賞したのは以下の部門です。

Asili, flute. 4位 Marimba 3位 Isikuti 5位 Percussion Luo band 3位
band from African cultures 5位 Ribina dance 4位 Teso folk song 3位

今年は惜しくも1位、2位は得られませんでした。3位入賞が3部門、4位入賞が2部門、5位入賞が2部門でした！参加した子どもたちは全員が賞状を、マゴソスクール全体でも学校用の賞状を頂き帰ってきました。8年生のコリンズが、最も優れたパフォーマーとして表彰され、大統領官邸に招待され、大統領の前で踊ることになるそうです！4部門で高得点上位入賞したことで、ナイロビ知事が大喜びして子どもたちにチキンとチップスをプレゼントしてくれました。キベラスラムの子どもたちにとって、チキンとは年に1回クリスマスにだけ食べられるような大ごちさうです。大興奮の嵐でした。

ケニア全国からの子どもたちに出会えて、同じ土俵で競い合うことができるのは大きな刺激になることでしょう。こんなに楽しい経験を子どもたちに与えてくださって、ご協力くださった皆さん本当にありがとうございます。子どもたち80名、一生忘れられない思い出になったと思います！

地区予選、県大会、地方大会と勝ち抜いて全国大会に出るまでの取り組みの中で、子どもたちは、仲間との絆を強め、挑戦することの楽しさを経験し、晴れ舞台に立つことの誇らしさを経験し、イキイキと表情も変わっていきます。このように音楽やスポーツ、アート、モノ作りなどの活動は、子どもたちに現実の辛さを乗り越え、夢を持ち、仲間を作り、楽しく生きる力をくれます。小学校のときの思いきり楽しかった思い出や、みんなで心をひとつにして挑戦した思い出や、先生や仲間たちとの絆が、ここから先の過酷な人生の大切な宝物になるだろうと信じています。

そして、子どもたちは、自分たちを応援してくれた人たちがいたということをとっても誇りに思い、この世の中には助けの手を差し伸べてくれる人がいるのだということを感じて生きることができると思います。

んのをしました。



50になりました。

皆さん、ありがとうございました。か、こんなにできました



音楽大会、リフトバ — ユー イントで 合

